

新電力新潟 脱炭素に関する取り組み

新電力新潟株式会社

新電力新潟は、新潟県内を中心に電力を販売する、小売電気事業者です。下記目標達成のために複数の計画を作成し、遂行していきます。

目標①：2030年までに自社のCO₂(scope1,2)の排出量を、2022年比で42%削減

目標②：新潟市・新潟県内全域の脱炭素化の支援・推進

現状①：2022年度におけるCO₂排出量(scope1,2)は約3,850 kg

現状②：2023年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数

新電力新潟：0.0323 kg/kWh

自社賃貸オフィスで契約している電力会社：0.0408 kg/kWh

計画①：自社の脱炭素化

目標①達成に向けて、省エネ商材の導入、非化石証書・カーボンクレジットの購入などによって、自社のCO₂排出量を削減するための策を講じます。

現状把握から自社にあった排出量削減策を見つけ、単一の方法ではなく、複数の方法を考慮したうえで削減に取り組んでいきます。

計画②：販売電力の再エネ化

太陽光発電の導入・非化石証書の購入などによって、自社が需要家へ販売する電力を再エネ、もしくは実質再エネにするための策を講じます。

現在、弊社独自に所持している太陽光発電は微量であり、十分ではありません。PPA事業などを通して、自社で再エネ電力を発電する力を得ます。

再生可能エネルギー発電で賄うことのできない分は、非化石証書の購入によって、販売電力によるCO₂排出を抑えます。

計画③：CO₂可視化サービスの普及

現在進行している事業に「CO₂可視化サービス事業」があります。2024年度における販売開始を予定しています。本事業の目的は、市内・県内の企業にCO₂排出量可視化・削減の支援を行い、新潟市・新潟県全体の脱炭素化を推進することです。

これを新潟市・新潟県内の企業に普及させることによって、各企業のCO₂排出量削減、脱炭素を大きく前進させることができます。